



▲令和2年11月18日 エビデンスを示して、歯科の重要性を菅総理に訴える

昨年10月、私は日歯連盟評議員会で次期参議院選挙の組織代表として決定をいただきました。これまでの私の政治活動を評価いただき光栄と感謝申し上げますとともに、今後は組織代表としての責任をしっかりと果たしていきます。

一方、歯科医師ではない初めての組織代表に戸惑いがあることも理解しています。しかし前回選挙で「歯科医師でないからこそ、突

組織代表として決意を新たに

新年おめでとうございます。

「庚子（かのえ・ね）」の昨年は大変な1年でしたが、様々な意味で新しい種「子」が蒔かれた年でもありました。今年は「辛丑（かのと・うし）」。「辛」は刺青の針で、「丑」は母体から出た赤子が右手を伸ばした状態を表す象形文字。今年はこれまでの新生の働きが産みの辛（つら）さも伴いながら表面に出てくる年なので、小さくても何か新しいことに挑戦していきたいものです。

無床診療所への存続支援を要請

医科や歯科の無床医療機関は、コロナ感染拡大により多大な影響を受けています。とりわけ歯科診療所は、昨年4～6月の受診抑制による大幅な減収の補てんが未だにできず、今後さらなる感染拡大が起これば地域医療



▲令和2年12月16日 田村厚労大臣に「感染拡大防止支援事業」の補助対象を医科並みに拡大するよう要望

の崩壊を招きかねない状況です。

そこで私が座長を務める「歯科口腔医療勉強会」は、11月9日に加藤勝信官房長官に対し、歯科などの無床診療所存続のためのさらなる支援策を強く要望いたしました。そして令和2年度第3次補正予算で、第2次補正予算で実施されてきた100万円限度の「感染拡大防止等支援補助金」と同様の補助金が、昨年12月15日から今年3月31日までにかかる費用を対象に、25万円限度で追加補助されることになりました。

今年が来年度の診療報酬改定に向け、最大の課題です。

そこで「歯科口腔医療勉強会」の中に「診療報酬改定対策チーム」を設置し、日歯連盟と連携し初再診料の医科歯科格差の是正など、歯科に対して正当な評価がなされるよう総力をあげて取り組んでいきます。

わが国は世界一の長寿国になったとは言え、天寿ギリギリまで健康でいられる国民は多くありません。私の夢は日本を「天寿まで国民が健康でいられる国」にして、日本が新しい「世界のモデル」となることです。そのためには国を挙げて全ての分野で挑戦しなければなりません。が、「口腔の健康が全身の健康につながっている」わけですから、歯科こそが新しい時代の中心にならなければならないというのが私の信念です。

山田宏のタックルニュース

令和3年号

1月1日

令和3年

発行

山田宏よい国後援会

機関紙



自民党

国民のため、歯科を守り、そして押し上げる！
これまでも。これからも。参議院議員 山田宏



「無床医療機関の支援」要望

自民党の
歯科勉強会

加藤官房長官に要望書を手渡す歯科口腔医療勉強会の議員ら



自民党の歯科口腔医療勉強会（岸信夫顧問、山田宏座長）は9日、加藤勝信内閣官房長官に「新型コロナウイルス感染症の影響を受けている無床医療機関への支援に関する要望書」を手渡した。

要望書では、第2次補正予算での対応に感謝の意を示した上で、東京近郊などで再び感染拡大が起きている点を強調。

国民の健康を守るために最も重要な社会インフラと

なる医療機関は、保険点数による収入の中で経営しており、利益を生む構造になっていないと指摘している。

そして、内部留保金がなく経営危機により閉鎖を余儀なくされ、地域医療現場の崩壊を招きかねない状況と訴えた上で、次の要望をしている。

◆◆◆

▼国民の健康維持・感染症重症化予防、また予測されるさらなる感染拡大に備え、重要な社会インフラである医療機関の消滅による地域医療崩壊から国民を守るため、最も身近である無床医療機関存続のための支援を強く要望いたします

「天寿まで健康でいられる国・日本」が私の夢

今年が来年度の診療報酬改定に向け、最大の課題です。

そこで「歯科口腔医療勉強会」の中に「診療報酬改定対策チーム」を設置し、日歯連盟と連携し初再診料の医科歯科格差の是正など、歯科に対して正当な評価がなされるよう総力をあげて取り組んでいきます。

わが国は世界一の長寿国になったとは言え、天寿ギリギリまで健康でいられる国民は多くありません。私の夢は日本を「天寿まで国民が健康でいられる国」にして、日本が新しい「世界のモデル」となることです。そのためには国を挙げて全ての分野で挑戦しなければなりません。が、「口腔の健康が全身の健康につながっている」わけですから、歯科こそが新しい時代の中心にならなければならないというのが私の信念です。

山田宏(やまだひろし)プロフィール(2021.1現在)

参議院議員(自由民主党)
自民党 広報本部 本部長代理
自民党 国防委員会 本部長代理
前防衛大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官
所属委員会………
予算委員会
外交防衛委員会
沖縄及び北方領土に関する特別委員会(筆頭理事)

昭和33年(1958年)1月8日生まれ(62歳)
京都大学法学部卒業。松下政経塾第2期生。
東京都議会議員(2期)・参議院議員(2期)・
杉並区長(3期)

山田宏よい国後援会
歯科部会にお入りください!

「骨太方針」2017・2018・2019、そして2020でも更に踏み込んだ内容で、歯科の重要性が記述されました!

次は「生涯を通じた歯科健診」の法制化を目指し、歯科口腔医療の大切さが広く国民に浸透するよう働いてまいります。

ぜひ、ご入会いただき山田宏の活動をご支援いただけますようお願い申し上げます。



◀後援会員には会員限定の「ズバリ通信」を年4回お送り致します。

山田宏の日々の活動は、ホームページ、フェイスブック、ツイッター、YouTubeでご紹介しています

山田宏公式サイト: www.yamadahirosi.com
山田宏公式Facebookページ:
<https://www.facebook.com/yamadahirosi.page/>
山田宏公式ツイッター: @yamazogaikuzo
山田宏 YouTubeチャンネル:
<https://www.youtube.com/user/YamadaHiroshiCom>

公式サイト



Facebook



ツイッター



YouTube



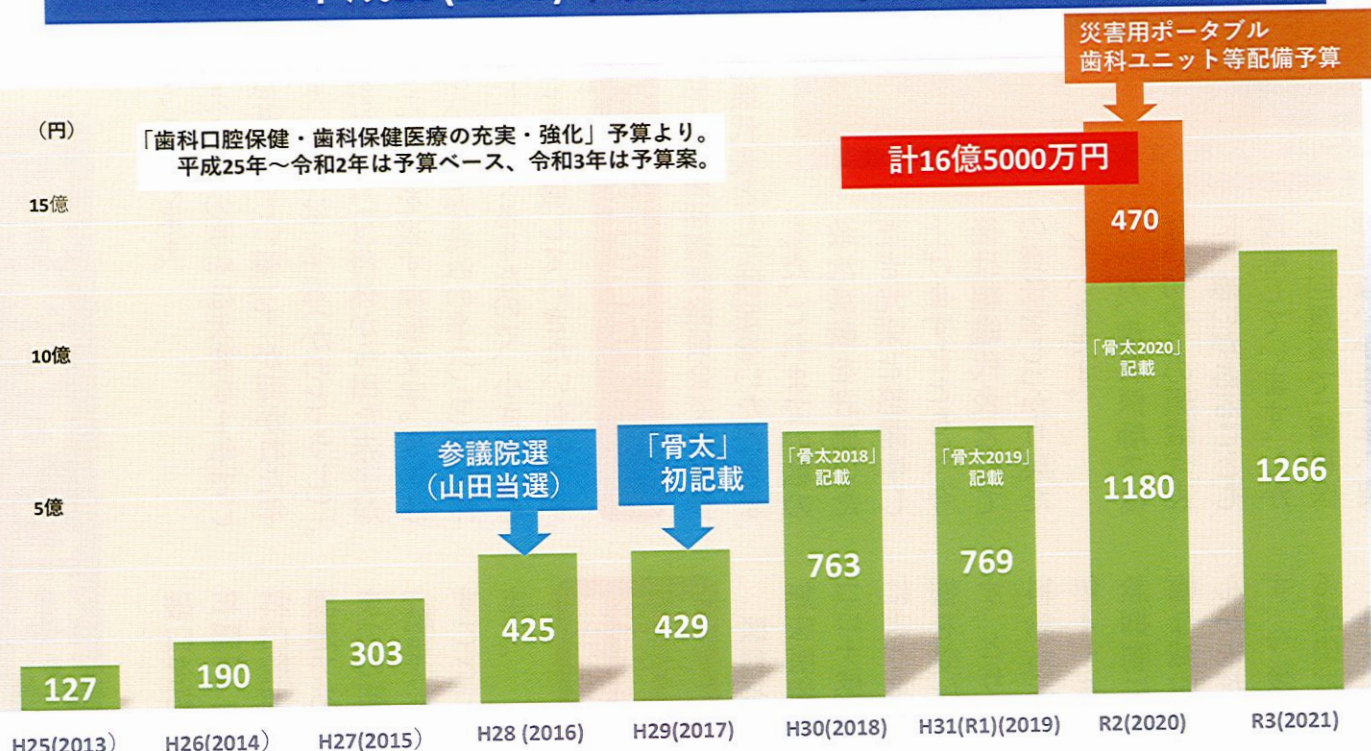
チャンネル登録をお願いします!!▲

10月31日(土)より配信を始めましたYouTubeチャンネル、もうご覧いただいておりますでしょうか?

山田宏の数多い引き出しの中から、国民の方々に知っていただきたいことを発信していきます。各回10分程度の動画です。どうぞ、周りのお知り合いの方々に山田宏の考えをお広めください!

お問い合わせはこちらをお願いいたします。

山田宏 国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館1205号室
Tel.03-6550-1205 Fax.03-6551-1205

歯科口腔保健・歯科保健医療の充実・強化関連予算の推移
平成25(2013)年度～令和3(2021)年度

新年度予算の特徴として、5年に一度全国で実施される「歯科疾患実態調査」があります。前回(平成28年度)は150箇所でしたが、令和3年度の調査は475箇所と約3倍になります。口腔と全身の健康への関連性が広く国民に認知されてきている状況を踏まえ、できるだけ多くのデータを収集し、令和4年度に最終評価を行った上、国の健康増進事業計画等の策定につなげていくこととなります。

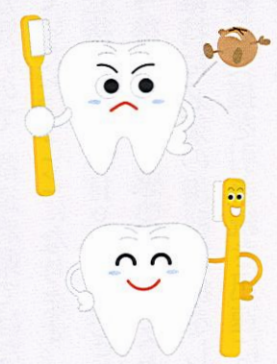
また、歯科健診や歯科保健指導の全国標準化に向けての検討は、3年目の今年度でほぼ終わり、今後は標準モデルを全国に拡大していくため、自治体や事業所、介護施設や障害者施設、状況に応じた使い勝手のよいものにする検討も行います。

令和3年度・
歯科口腔保健関連予算
8600万円増の
12億6600万円に

コロナ・ワクチンの優先接種 今回は歯科関連従事者も

2009年の新型インフルエンザのワクチン接種事業の際に、優先接種対象の医療従事者の中に歯科が含まれなかったこともあり、今回のコロナ・ワクチンの優先接種に当たっては、歯科関連従事者を含んでほしいとの多くの要望を昨年5月頃からいただけてきました。

そこで山田宏はその旨を再三再四、西村コロナ担当大臣に要望し大臣からも前向きな返事をいただけてきましたが、昨年12月の政府の新型コロナウイルス感染症対策本部でワクチン接種優先対象である医療従事者の中に歯科関連従事者も含まれることが正式に決定されました。



新聞QUINT

2020年12月10日(木) 第300号

顔 The Face

次期参院選の歯科界
組織代表候補者
山田 宏
参議院議員



政治のプロとして歯科の諸問題を解決し、必ず結果を出したい

日本歯科医師連盟(以下、日歯連盟)の臨時評議員会において、次期参議院議員比例代表選挙の組織代表候補者として山田 宏氏(参議院議員)が正式に決定した。歯科医療政策を具現化するために「歯科医師を国会議員に」を中心に掲げて政治活動を展開してきた日歯連盟だが、歯科医師以外の組織代表は今回初となる。本欄では、歯科医師ではない山田氏が歯科の重要性を発信し続ける、その想いをうかがった。

山田: 私が歯科に関心をもつようになった大きな理由は、1999年から3期務めた杉並区長時代に組織代表財政再建で口腔の健康が全身の健康につながるという経験をしたからです。

当時、杉並区歯科医師会会長だった高橋英登先生(現日歯連盟会長)からいただいた資料の中に、香川県や特定の健康保険組合の調査データがあり、年1回歯科健診をしている高齢者とそうでない高齢者の医療費は10~15万円ほど差があるということが報告されていました。私は定期的な歯科健診が高齢者の疾病予防や介護予防

など医療費削減に寄与するのではないかと思います。成人歯科健診事業に力を入れたのです。対策として歯のクリーニング券と歯科健診をセットにしたところ、当時6%だった受診率を15%まで上昇させることができました。また、区内の一部の小学校に歯磨き奨励用の洗面台を設置して、地域の学校歯科医と連携しながら歯磨き励行を行ったところ、インフルエンザの罹患率を大幅に減少させることができました。

私は健康のまま天寿を全うするよう国づくりを目指す目標のなかで、口の中から健康づくりを考え、健康政策の柱として歯科の重要性を発信していたところ、2016年の参議院選挙で日歯連盟に支援していただきました。27歳から政治の世界に入り、首長や国会議員を経験してきて政策実現のプロセスや方法は熟知しています。私は歯科医師ではありませんが、「政治のプロとして歯科界の諸問題の突破口を拓き、結果を出す」と主張し、自民党内に「歯科口腔医療勉強会」をつくり、歯科の重要性を理解していただける国会議員を増やす取り組みを続けてきました。その結果の1つとして、いわゆる「骨太の方針」に2017年から

4年連続で歯科の項目が明記され、予算化にもつながっていることは周知のとおりです。

予防医療の重要性が叫ばれて久しいなか、歯科は「疾病医」でなく「健康医」として日本の健康政策の中心でその役割を担うことができると確信しています。引き続き、骨太の方針にも記載されている「生涯を通じた歯科健診の充実」を推進するために「国民皆歯科健診」の法制化に取り組み、また診療報酬上の再評価や医科歯科連携を推進するためのシステム化など、歯科医療政策の実現のために日歯連盟としっかり連携しながら課題解決に取り組んでいきたいと思っています。

今回、私のこれまで取り組んできた経験と実績が評議員に評価されたと理解しています。政治のプロとして歯科の諸問題を解決し、必ず国政の場で結果を出したいと思っています。

やまだ・ひろし
1958年1月8日、東京都生まれ。
自由民主党参議院議員。歯科口腔
医療勉強会座長。元衆議院議員(2
期)。前杉並区長(3期)。京都大学
法学部卒業。松下政経塾第2期生。